

未来づくり懇談会（梶ヶ沢）会議録

日 時：平成29年9月25日（月）

18：30～19：50

場 所：梶ヶ沢自治公民館

出席者：市長、教育長、総合政策部長、
市民生活部長

1 開 会 18：30 進行：秘書広報課長

2 あいさつ 矢板市長

3 出席者紹介

4 矢板市設定テーマ

○次期環境施設整備に伴う地域還元について

塩谷広域行政組合の次期環境施設整備にあたり、梶ヶ沢行政区と塩谷広域行政組合との間で地域還元に関する覚書が締結されたと聞いている。市としては塩谷広域行政組合からの協力要請を受け、自治公民館の建て替えについて、地域づくり推進事業を活用し、上限額500万円の補助を予定させて頂いている。

また、分譲地内の道路工事について、当該道路は認定外道路であり通常では舗装工事等対応が難しい事案であるが、例外的に市建設課において実施させて頂いている。市としても行政区の皆様にご支援をさせて頂いているところであり、今後も塩谷広域行政組合と連携しながら、市として努力して参りたい。

○持続可能な片岡地区のまちづくりについて

・資料に基づき、人口・高齢化率推移等を説明

地方創生の取り組みとして克服戦略と適応戦略の2つがあるが、この2つを上手く組み合わせて乗り越えていきたい。

高齢化社会の進行で、10月1日から市営バスの運賃を75歳以上無料化で始める。最近、高齢者ドライバーの事故なども相次いでいる中、公共交通機関の充実のきっかけとして始める。

Q1 梶ヶ沢行政区内の小学生は7人で3世帯。極論から言うと3世帯引越すとゼロ。兄弟姉妹が多い家があつて、あとはいない。お祭りも無理。育成会も終わり。

A1 倉掛の小学生は1人。育成会もずいぶん前から休止。休止と言ってもなかなか復活はできない。

5 意見交換

Q 1 市役所を建て直してもらいたい。市役所を建て直すということは、もっと職員がいい仕事をしてくれるようになる。

また、感心したのは市役所の市民課。案内してくれる人ができたおかげで二度手間、三度手間をしないで済む。最高にいい。非常に助かっている。

A 1 ありがとうございます。

今の庁舎は昭和37年12月竣工と聞いている。耐震補強してもあと10年くらいしか持たない。市庁舎の建設についてはお金がかかる。基金の積み立ても行っていなかった。塩谷町は8億4千万～6千万くらいある。

平成30年3月 庁舎整備基金追加積立実施。

平成30年度以降 庁舎整備検討委員会設立。庁舎の整備方針検討、庁舎設置計画策定。

Q 2 国道4号を横断するトンネルが前岡と後岡に2つあるが、そのトンネルが狭く車が全然すれ違えない。

A 2 国道4号の整備は、矢板ICから針生、土屋交差点までの6.5km区間が既に平成27年度に新規事業化になり、いろいろ測量など各種の準備行為が始まっている。確かにボックスは狭い。

Q 3 JR片岡駅が整備されたが、梶ヶ沢、安沢からすごく行きにくい。とにかく、県道下河戸・片岡線も県道塩谷・喜連川線も、大型車が通り抜けられない。

A 3 矢板南産業団地は結構物流関係の大きいトラックが来ている。乙畑のY字路まで下がって回って行くという。近いようで遠いと言われる。

都市計画道路として、県道下河戸・片岡線のコンビニができた丁字路からJRの線路をまたいで県道塩谷・喜連川線、県道矢板・那須線につながるという計画はあるので、道路が抜ければ便利になってくる。

Q 4 自治公民館脇の道路をもう少し何とかしてほしい。広域には出したがカットされた。ここは市道ではなく認定外道路。建設課に行ってお願いはしてあるが、ごみ収集車が出入りするので道が壊れてしまう。

A 4 担当課に伝える。

Q 5 片岡地区は駅もICもあり、栃木県でも一番いい条件のところ。地区が発展するためにどうしたらいいか。ここ片岡のために、矢板のために本当に真剣に考えてほしい。

A 5 地理的に優れた地域だと思う。昨年度から調査を始めたが、片岡駅についても西口は新しくなりつつじが丘ニュータウンの分譲も好調だが、東口もロータリーの整備も始めようと考えている。また、片岡駅東口からまっすぐ国道4号に接続する道路も計画としてはある。工夫すればまだまだ片岡地区は伸びる可能性がある。少しずつ優先順位をつけながら、バランスを取りながら進めていきたい。

Q 6 さゆり幼稚園の跡地はどんな風になるのか。

A 6 当時、梶ヶ沢公民館の建て替えの計画が構想されていたので市の方から土地を提供する話があったが、地域から離れていたり、道路幅が4 m未満のため家が建たないため、今のところ動きはない。

平成 30 年度 寄付による受け入れを実施予定。利用法について検討を進める。

Q 7 現在、ごみ処理施設の盛土工事をしているが、土を積んだダンプが下りてくると、どうしてもスピードが出る。今だけかもしれないが、この間広域に行つてそれを申し入れてきた。

A 7 しばらくは工事の関係でご迷惑ご心配をおかけする。何かあれば市からも広域に話をする。

Q 8 地域包括支援センターというのをよく聞くが、どういった内容なのか。今後はどう進んでいくのかお話しできる範囲でお話して頂ければ。

A 8 地域包括支援センターは、高齢者向けの相談支援の機関で、矢板市では社会福祉協議会で市内全域をカバーしていた。例えば介護の制度を利用する際に、ご本人というよりは関係者の方にお越しいただいて、いろいろ専門的な助言や、いろいろな福祉サービスに繋げていくような機関。

今まで社協に委託していたが、市の規模を考えると一か所だけでは少ないので、平成 28 年度に 2 箇所を民間の事業者へ委託をして、より効率的、効果的な支援にあたっていこうということになった。

泉地区と矢板地区の西側の業者は決定したが、矢板地区の東側と片岡地区は、必要とするスタッフが集まらず、3月20日ごろに急遽、辞退の申し出を頂いた。社協の委託は今年3月末で終了予定だったが、急遽、社会福祉協議会に引き継ぎ、片岡地区と矢板地区の東側について1年間だけ継続をお願いした。

4月から再度募集をかけ、既に何ヶ所か名乗りを上げている。来年の4月からは、どこかの事業者へ委託となる。

平成 29 年 4 月 矢板市地域包括支援センター やしお 開設

平成 30 年 4 月 矢板市地域包括支援センター すえひろ 開設

Q 9 防災無線がうるさい。夜中の何時でも竜巻注意情報が鳴る。

A 9 竜巻注意情報は1時間ごとに更新される。解除になるまでは出さざるを得ない。

Q 10 片中の給食が足りない。給食のほかにおにぎりを持たせないといけない。

また、子どもたちに聞くと給食の時間が短すぎて嚙んで食べられない。流し込むしかない。カリキュラム上仕方ないのかもしれないが、あれでは時間が短くて食育にはならない。

A 10 片中は一時期、少ないというので量を増やした経緯がある。給食の時間は配る時間も含めて40分くらいはとっているが再度確認する。

基準に沿ってカロリーや栄養の計算をして献立を作成。

市内小中学校は、ほぼ同じような日課であり、配膳と片付けの時間を抜いて、食べる時間は実質 20～25 分。

6 閉 会 19:50